

南 県 収 第 9 ー 1 8 号

平成20年10月10日

国土交通省道路局長 殿

南部町長 望 月 秀 次 郎



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け、国道企第37号にてご依頼のありました、このことにつきまして別紙のとおり回答いたします。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

山梨県 南部町

- ・ 地域に住む人の要望を重視した道路行政をお願いしたい。
- ・ 既設道路の維持・修繕に対しての補助若しくは交付金制度の創設。
- ・ 道路は国民共有の社会資本であると考えます。近年費用対効果の視点から道路問題を論じる事が多く、実情に即した議論や計画が立てにくい雰囲気があるように思われます。たとえ、中山間地の道路でもそこで生活する人達にとって今や道路は生活必需品のようなものです。

はたから眺めて「何故あのような所に道路を」と言った視点からの議論に対し、そのような所に住んでいる人達の声はかき消せられてしまいつつあります。

国会議員の先生が選挙目当てに必要性を訴えているのではないのです。そこに住む人達にとって真に必要であるから訴えているのです。都会でも地方でも地域に住む住民の声を尊重しきめ細かな道路行政を願うものであります。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②－1 地域の現状と抱える課題

山梨県 南部町

○現状

・国道52号は、雨量規制により大雨時には寸断されてしまう。これにより町外で働く住民の利便や企業を誘致する際にも、大きな障害となっている。現実には町内に進出を計画した企業も雨量規制の問題がネックとなりました。

・町道は、生活に密着した重要な道路であります。老朽化が進み、維持・補修費が行き届かないのが現状。

○課題

・防災工事等により、規制の早期解消を

・近年、橋梁の長寿命化については、補助制度がございますが、路面補修・防護施設等の取替などの補助を検討していただきたい。

- ・ 中部横断自動車道は、町内にインターチェンジを２箇所整備する計画となっており、甲府・静岡方面に対する移動時間が大幅に短縮されることが見込まれる。これにより南部町を起点とした、通勤圏も広がり、他市町村へ仕事を求める人口の流出の歯止めになることを期待する。
また、インターチェンジには、隣接として道の駅も計画されており、そこを中心に新たな商業地域として経済・雇用の場として発展させていきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

山梨県 南部町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 地域活力の向上	・ 中部横断自動車道の早期供用開始 ・ 国道４６９号線 整備促進 及び概略ルートの公表	・ 通勤可能圏が広がり、町に定住したまま通勤することができる住民が増える。 ・ 静岡県御殿場市の国道１３８号線から山梨県南部町の国道５２号線及び中部横断自動車道を結ぶ計画道路で東名高速道路や国道１号線の代替道路としての役割を持つとともに静岡・山梨両県の地域の活性化や交流の基盤づくりにもつながる路線であります。	
・ 総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	・ 国道５２号線を大規模な地震及び大雨に強い道として防災工事を	・ 山間地である南部町は、国道５２号線と県道富士川身延線の２路線が隣接市町村にアクセス可能な道路であり、この道路が封鎖されると陸の孤島になってしまう。防災工事を徹底することにより、災害時にも通行可能な道路となることを期待する。	